

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2023年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第一単位

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			部屋の広さが十分にあるため、支援がやりやすい。身体を動かす活動も出来る。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		指導員の数が増え、追加の支援や振替が行いやすくなった。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		一階教室は特に気にならず、安全に移動できる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		定期的に話し合いをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		アンケート結果を職員間で共有し、業務改善につなげられるように話し合っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3		公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			社内の事例検討や外部の研修に機会があれば参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的に子供の成長や課題を見直し、支援計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		小集団の活動の時に必ず行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			指導員で意見を出し合ったり、支援の見学を行い、互いに工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			平日の忙しい時期には、子供の疲れを配慮して関わり、長期休みなど、比較的ゆとりのある時には、お楽しみ課題にも工夫をこらして、イベント的な活動を取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		主に個別活動が中心だが、小集団活動を取り入れることもある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			支援内容に合わせて、職員が動きやすいように部屋を決めたり、役割、準備を行ってっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		その日が難しければ、次の日などに振り返りを行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			限られた時間内に分かりやすくまとめられるようにしている
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			6か月ごと、もしくは適宜見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		児発管、管理者が行くことが多い。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2		支援時間の変更や把握しておいた方がいい行事については保護者と確認している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	2	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		必要に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	1	必要に応じて行いたいと思っているが、今のところ該当者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	お知らせがあった時に研修などに参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	機会が今のところないが、いずれ出来るとよい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		児発管、管理者が参加している。
の連携	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			指導員、児発管とも保護者と限られた時間で子供の状況を話し、共通理解を持つ必要性を感じている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		特別に機会は設けてはいないが、支援のフィードバック時に、保護者からのご相談や、保護者支援を行っている。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に行っている。
保護者への説明責任等	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			支援のフィードバック時に指導員が悩みなどを伺い、助言したり保護者の気持ちに寄り添い、また事業所内相談支援の際に、じっくり話を伺う機会を設けている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	3	個別支援が主で、なかなか他の保護者との連携が難しいが、今後検討していきたい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			何か問題や苦情があった時には職員間で共有し、問題解決または対応の見直しを行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1	特に行っていないが、LINE やブログを通じて、保護者には定期的にご連絡をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			外部の方の見学時や作品掲示の仕方、実績記録票のサインなどを頂くときに、注意をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			分かりやすい指示や視覚的に伝わりやすい具体物を使って意思の疎通を心がけている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	特に行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			掲示物などで周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			定期的に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定期的に行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に説明を行っている。 また、やむを得ず行った場合には、保護者に了解を得るようにする。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	1	食事の提供は行っていないが、クッキングなどで配慮が必要な場合は、保護者と相談の上、活動内容を工夫している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事例があった場合は共有している。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2023年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第二単位

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			広さが十分に確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3			利用人数の多い曜日は忙しい。 日本語の支援をする職員がほしい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			支援室が2Fにあるため移動には安全面を考慮して誘導している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			結果を踏まえて話し合っていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	2		日本人に向けての研修が多く、ブラジル人のスタッフ向けが少ない。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			個別支援で複数の担当が受け持っている場合には、活動内容を情報共有している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		3		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	1	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		1	2	学校の行事などの情報を事前に把握し、急な欠席に備えて振替対応が出来るようにしていく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			3	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			3	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			3	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	㉜	子どもの会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			3	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	3			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			3	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3			訓練の様子やマニュアルを提示物等で周知する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			3	該当なし。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第一単位 保護者等数（児童数）：27 回収数：26 割合：96%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3		・広いスペースでのびのび活動したり、落ち着いて課題に向かっているようだ。 ・パーティションで仕切られている部屋は、隣の声が聞こえる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	10		手すりはない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	25	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	25	1		・様子をよく見てくれていて、定期的に活動内容を更新してくれている。 ・身体を動かす遊びなどを毎回取り入れてくれ、子供がとても楽しみにしている。 ・苦手な部分を楽しく過ごせるよう工夫されている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	12	8	・今は難しいと思う。 ・あるとよいと思う。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26			毎回療育での子供の様子を教えてもらって助かっている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1	2	・子供だけでなく親のことも気にかけてくれている。 ・面談が申し込めるのは嬉しい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	11	10	個別なのでない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	7		システムの的に本部の上司と話す機会がない
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	8		LINE が開設されて、よく見ている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	1		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	9	1	緊急時対応マニュアルはあるとよい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	12	2	子供達ともやった方がよい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	4		とても楽しみにしている。 行き渋りなく、楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	24	2		・家ではなかなか出来ないことをしてくれたり、楽しませてくれて、ありがたく思っている。 ・保護者同伴でも対応してくれるため、助かっている。(母子分離不安)

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年2月15日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」 桃花台校第二単位

保護者等数（児童数：21 回収数：17 割合：81%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	4		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	3	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	17			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	14	2	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	2	1	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	2	1	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15	2		
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3	1	

等 の 対 応	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	3	1	
満 足 度	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	13	3	1	指導員の先生が大好き。それが一番の理由。
	⑮	事業所の支援に満足しているか	16	1		一時間は短い。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。